

取組名称	花バチ達と森をつくるビーフォレスト活動			団体設立後の経過年数	10年目
応募取組主体名称	NPO法人 ビーフォレスト・クラブ	活動地域	奈良を中心とした日本全国	応募取組の活動年数	10年目
取組主体の種類	企業 / 学校 / <b>NPO・任意団体</b> / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門（概ね30代以下の次世代を担う若手を中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください） / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / <b>環境社会イノベーション賞</b> / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨
<p>日本ミツバチをはじめとする野生の花バチ（訪花昆虫）の減少に危機感を抱き、全国で保全活動を行っています。自宅の庭や農園、森などに「ミツバチ巣箱」や花バチが産卵できる「ハチ宿」を設置して繁殖環境づくりをしています。また、ハチ宿づくりを広めるために自然と芸術を融合した「ハチ宿アート展」の開催や、企業や学校との連携を通じて、花バチや生物多様性の重要性について広く伝え、持続可能な農業や自然環境の回復を目指しています。</p>
実績の要旨
<p>設立以来、全国各地に延べ数734個のミツバチ巣箱や約500個のハチ宿づくり・設置を行い、野生のミツバチや花バチの繁殖環境を整備してきました。一般市民を中心に企業や学校でのセミナーやワークショップなどを多数開催し、延べ約4,300人が活動に参加。メディアでも多数取り上げられ、生物多様性の重要性を広く伝えてきました。2023年、2024年の2回のハチ宿アート展の開催。</p>

取組内容の強み	環境への貢献	訪花昆虫の保護・繁殖環境づくりを通じ、生物多様性の回復と自然環境の維持に貢献。
	社会・経済への貢献	自然受粉の促進で農業生産を支援し、地域経済や環境教育の普及にも貢献。
	地域資源の活用	地域の森林や農地を活用し、訪花昆虫の繁殖環境を整え、生態系農業を推進。
	普及・汎用性	巣箱やハチ宿設置を誰でも実践可能にし、全国規模での環境保護活動を促進。
	革新・ユニーク性	アートとの融合や、営巣確認のモニタリングを取り入れ、斬新なアプローチで自然保護を推進。
	継続性	安定した資金や会員制度を基に、全国規模で持続可能な保護活動を展開。

展望の要旨	農家や学校、企業と協力して、自然資本である生物多様性の回復活動に国民みんなが参加できる安全で効果が出やすいプログラムの開発を進めています。
-------	---